

【図書館版】

第2学年家庭基礎学習指導案

日 時	令和3年9月20日(火) 第3校時(10時30分から11時20分まで)
学校名	学芸大学附属高等学校
対 象	第2学年H組40名
指導教員	栗原 智美 先生
授業者	大田 南緒

1 単元名 「高齢者の暮らし」

2 単元の目標

高齢者を取り巻く社会環境や高齢者の尊厳と自立的な生活のためのあり方についての理解を深めるとともに、高齢者を取り巻く問題について考察し、主体的にその問題解決に向けて生活を計画・工夫することができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
①高齢者福祉の現状と課題について理解している。 ②高齢者の自立と尊厳について理解している。	①高齢者や高齢者を取り巻く社会の現状を知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して資料を収集したり、調査したりしている。	①学習を通して、高齢者の生活に関心をもち、未来の自分の生活としてとらえ、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ②高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支える仕組みについて考えようとしている。

4 指導観

本単元は、高校学習指導要領第2章第9節家庭の「家庭基礎A人の一生と家族・家庭及び福祉(4)高齢期の生活と福祉」に位置づく。家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、ともに支え合う社会の一員として主体的に行動する意思決定能力を身に付けさせることを目標としている。現在の日本が「超高齢社会」であることを知り、その内容や課題について知ることにより、自らの高齢期について計画し、ライフステージについて考えられるようにする。

5 単元の指導計画 (全2時間)

次	ねらい	時	学習内容・学習活動
1	我が国の高齢化の特徴を知り、高齢化社会の現状と課題について理解する。また、高齢期の生活を支える制度について知る。	1	・高齢者の暮らしを知り、自分の高齢期について想像し、生きがいについて考える。 ・調べ学習を通じて社会的な支援のあり方について考える。

		2	・老後 2000 万円問題をきっかけに年金制度について理解を深め退職後の年金との付き合い方について計画する。
--	--	---	--------------------------------------------------------

6 本時の指導 (全 2 時間中の第 1 時)

(1) 本時の目標

高齢期の生活を知り、生きがいや楽しみ、社会的な支援のあり方について考えることができる。

【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開

	○学習内容・学習活動	・指導上の留意点【評価規準】(評価方法)
導入 10 分	<p>○高齢者についてのクイズを行い復習する。</p> <p>(1)「高齢者とは何歳以上の人のことをいいますか？」→65 歳</p> <p>(2)「超高齢社会」と呼ばれる日本では、現在およそ何人にひとりが高齢者ですか？ →4 人にひとり</p> <p>(3)「超高齢社会」の日本で、高齢者を取りまく現状について正しく説明しているものはどれですか？→高齢者の経済と孤立が大きな問題となっている</p> <p>○導入のクイズの内容を確認するための動画を観る。 『人生 90 年・超高齢社会の現状』(3 分 2 秒)</p>	<p>・超高齢社会である日本の現状をどのくらい理解しているかを生徒自身が把握できるようにする。</p> <p>・動画で答え合わせを行い興味を持たせる。</p> <p>・超高齢社会では「経済・孤独」の二つが問題になっていることを確認し、今日の授業では主に「孤独」について考えることを伝える。</p>
展開 35 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>高齢者が生きがいをもって暮らすためにはどのような取組があるのだろうか</p> </div> <p>○高齢者が孤独を感じるのはどのような時かを考える。</p> <p>S:一人で暮らしている。 子どもや孫が近くに住んでいない。 近所付き合いがない。</p> <p>○高齢者が孤独を感じないためにどうすればよいかを考える。</p> <p>S:生きがいを持って暮らす。 スポーツや趣味を続ける。 近所に友達を作る。 長く働き続ける。</p>	<p>・周りの友達と話し合い、様々な意見を出す。</p> <p>・身の回りのお年寄りをイメージしてかんがえるよう促す。</p> <p>・自分が高齢者になったらしてどのような暮らしがしたいか考え、話し合う。</p> <p>・今の自分の生きがいは何かも考える。</p>

	<p>地域の活動に参加する。</p> <p>○高齢者の社会参加のためにどのような支援があるのかを図書館で資料を探したり、インターネットで検索をしたりしてまとめる。</p> <p>○調べた内容をグループ内で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・。 ・自分が高齢者になった時どのような支援があったらよいかを考えて調べるようにする。 ・高齢者の社会参加は、行政・地域・NPOなどが協力して支援を行っていることを確認する。 <p>【高齢期の生活を知り、生きがいや楽しみ、社会的な支援のあり方について考え、表現している。】（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたこととグループの友達が調べた内容の違いから、高齢者の支援についてはさまざまな見方や考え方があるということを理解し、自分の意見をもてるようにする。
<p>ま と め 5 分</p>	<p>○学習を振り返る。自分が高齢者になった時にどんな暮らしがしたいかを考える。</p> <p>○高齢者の経済状況を教科書で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の経済状況を知り、公的年金の制度について次の時間に学習することを伝える。

<引用>

・HNK 高校講座家庭総合 第12回高齢者・若者との共生 |

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/katei/archive/chapter012.html>

【教室実施版】

第2学年家庭基礎学習指導案

日 時	令和3年9月20日(火) 第6校時(14時20分から15時10分まで)
学 校 名	学芸大学附属高等学校
対 象	第2学年H組40名
指導教員	栗原 智美 先生
授 業 者	大田 南緒

1 題材名 ともに生きる 一人のつながりと福祉— 「高齢者」

2 題材の目標

- ・高齢者を取り巻く社会環境や高齢者の尊厳と自立的な生活のためのあり方についての理解を深めるとともに、高齢者を取り巻く問題について考察し、主体的にその問題解決に向けて生活を計画・工夫することができる。

3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
高齢者福祉の現状と課題や高齢者の自立と尊厳について理解している。	高齢者や高齢者を取り巻く社会の現状を知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して資料を収集したり、調査したりしている。	学習を通して、高齢者の生活に関心をもち、未来の自分の生活としてとらえ、意欲的に学習に取り組もうとしている。

4 題材観

(1)指導観

本題材は、高校学習指導要領第2章第9節家庭の「家庭基礎A人の一生と家族・家庭及び福祉(4)高齢期の生活と福祉」に位置づく。家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、ともに支え合う社会の一員として主体的に行動する意思決定能力を身に付けさせることをねらいとしている。自己の尊厳について触れ、自立した生活ができなくなっても、人間としては尊ばれることや、それを支えるために、自立生活の支援や介護が必要であることが理解できるようにする。自己決定や主体的に自分らしく生きる視点が高齢期でも大切であるという考え方を示しながら、生活を観察・分析し、その人の有する力に着目し、その人に合った衣食住生活など環境を整えることで生活の質が向上することを理解できるようにする。

(2)児童観

本学級の生徒は、家庭科に対して関心が高く、前回までの授業では、「高齢者とは」について学習している。高齢期の心身の特徴や生活について理解しており、本題材では、福祉について理解し、介護が必要になった場合、家族、地域及び福祉サービス等の連携により社会全体で高齢者を支える仕組みや在り方について考えていく。また、日々暮らしているこの日本が「超高齢社会」であることを知り、その内容や課題について理解することによって、生徒ら自らが高齢期を迎えた際にどのような暮らしになって

いるかを想像し、ライフステージを見通すことができるようになってほしい。

(3)教材観

本題材では、まず前時の復習を兼ねて高齢者についての動画を視聴し、高齢者についての理解度を確認する。高齢者にとっての課題が「孤独」と「経済」であることから本題材では「孤独」について扱い、①身の回り的高齢者について②自分が高齢者になったときについての2つの視点から高齢者の孤独を考えられるようにする。高齢者が生きがいをもって生きていくために、どのような取組があるのかを調べる時間を取り、自らの興味や関心に気付けるようにしたい。まとめでは再び、①自分が今高齢者のためにできることについて②自分が高齢者となったときについての2つの視点で考え、高齢者の暮らしについて主体的に行動する意思決定能力を身に付けさせたい。

5 本時の指導

(1)本時の目標

- ・高齢者福祉の現状と課題や高齢者の自立と尊厳について理解している。 【知識・技能】
- ・高齢者や高齢者を取り巻く社会の現状を知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して資料を収集したり、調査したりしている。 【思考・判断・表現】
- ・学習を通して、高齢者の生活に関心をもち、未来の自分の生活としてとらえ、意欲的に学習に取り組もうとしている。 【主体的に取り組む態度】

(2)本時の展開

	○学習内容・学習活動	・指導上の留意点【評価規準】(評価方法)
導入 10分	<p>○導入のクイズの内容を確認するための動画を観る。</p> <p>『人生90年・超高齢社会の現状』</p> <p>○高齢者についてのクイズを行い復習する。</p> <p>(1)「高齢者とは何歳以上の人のことをいいますか？」→65歳</p> <p>(2)「超高齢社会」と呼ばれる日本では、現在およそ何人にひとりが高齢者ですか？→4人にひとり</p> <p>(3)「超高齢社会」の日本で、高齢者をとりまく現状について正しく説明しているものはどれですか？→高齢者の経済と孤立が大きな問題となっている</p>	<p>・動画を視聴することで高齢者の暮らしについて興味を持たせる。</p> <p>・超高齢社会である日本の現状をどのくらい理解しているかを生徒自身が把握できるようにする。</p> <p>・超高齢社会では「経済・孤独」の二つが問題になっていることを確認し、今日の授業では主に「孤独」について考えることを伝える。</p>
展開 35分	<p>○高齢者が孤独を感じるのはどのような時かを考える。</p> <p>S:一人で暮らしている。</p> <p>S:子どもや孫が近くに住んでいない。</p> <p>S:近所付き合いがない。</p>	<p>・身の回りのお年寄りをイメージしてかんがえるよう促す。</p>

	<p>○高齢者が孤独を感じないためにどうすればよいかを考える。</p> <p>S:生きがいを持って暮らす。</p> <p>S:スポーツや趣味を続ける。</p> <p>S:近所に友達を作る。</p> <p>S:長く働き続ける。</p> <p>S:地域の活動に参加する。</p> <p>○高齢者の社会参加について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを埋める。 <p>○高齢者の社会参加のためにどのような支援があるのかを調べ、まとめる。</p> <p>○自分が高齢者になった時にどんな暮らしがしたいかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が高齢者になったらしてどのような暮らしがしたいかを考えるように伝える。 ・今の自分の生きがいは何かも考え参考にする。 <p>【ア 高齢者福祉の現状と課題や高齢者の自立と尊厳について理解している。】 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が高齢者になった時どのような支援があったらよいかを考えて調べるようにする。 ・高齢者の社会参加は、行政・地域・NPOなどが協力して支援を行っていることを確認する。 <p>【イ 高齢者や高齢者を取り巻く社会の現状を知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して資料を収集したり、調査したりしている。】 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来自分生きがいをもって暮らすためにどのような支援が必要か考える。 ・自らのライフステージについて考えられるように促す。
<p>まとめ 5分</p>	<p>○学習を振り返る。</p> <p>(1)この授業で学んだこと</p> <p>(2)私たちにできることは何か・何をしてきたと思うか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加について学習し、高齢者の社会参加のために、今の自分にできることは何かを考えられるようにする。 <p>【ウ 学習を通して、高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえ、意欲的に学習に取り組もうとしている。】 (ワークシート)</p>

<引用>

・HNK 高校講座家庭総合 第12回高齢者 高齢者との共生 |

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/katei/archive/chapter012.html>